

宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.8 平成27年9月14日発行
発行責任者：高一伸

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web : http://www.soya-teachers.org Mail : info@soya-teachers.org



組合活動はあちこちで躍動してる！ 第49回中央委員会



宗谷教職員組合第49回中央委員会を、9月5日に開催。憲法と平和を守る取り組みや、へき地級地を守る取り組み…と、緊急の行動がめまぐるしかった

半年間の組合づくりを確かめました。各支部で組合活動が豊かに動いていることを感じられる中央委員会になりました。各支部からの発言がとても豊か

各支部の発言から

- 「うちの支部で独自に集まる機会を大切にしています」(利尻・利尻富士)
- 「全国教研に行き、とっても勉強になりました」(浜頓別・豊富)
- 「若者の集い、よかった！来年はどこでやるのか楽しみです」(礼文・中頓別)
- 「組合の必要性を実感して、『支部』を作りました」(幌延)
- 「管内の教職員として母女をはじめとした“つどい”の力を実感してがんばっています」(枝幸)
- 「臨教部学習会で組合員が増えて、分会ではケーキで歓迎したそうです」(猿払)
- 「へき地級地を守る取り組みをみんなががんばっています」(豊富・稚内)

あなたの目で、 歴史の節目を確かめて！ 9月19日に稚内支部がアピール行動

「戦争反対！」を訴えている全国的なたたかいは、9月14日に山場を迎えるといわれています。そうした中で、安全保障関連法案の審議が佳境に入り、9月16日には強行採決がされる見通しという報道があります。宗谷教組では、与党国会議員に対する抗議FAXの取り組みをしています。ある分会では、多くの先生がすぐに書いてくれました。ほとんど書いてくれたんじゃないかな。あんまり集まらないかなと思っていたのですが、嬉しくも予想がはずれました。その中の1人の先生が「やっぱりみんな腹立ってるんだよ。普段は話題にならないけど。その分たまってるんじゃない？」と話してくれた…といえます。稚内支部では、こうした情勢をふまえて9月19日にアピール行動を計画しています。この節目から、憲法と平和を守る取り組みをどんどん広げましょう。

稚内支部「戦争法案反対アピール活動」

9月19日(土)16:00

- ◆稚内東小前を出発、40号を南駅まで行進(雨天決行)
- ◆稚内支部が独自に計画した取り組みです。
- ◆町村の各支部からの参加もOK



各支部の発言から、「みんなが組合に集い、がんばっている」ということをお互い感じられるようになったらいいと感じる中央委員会となりました。「忙しい」とか「○○できない」とか「こういう思考が広がると、組合づくりもおのずと元気がなくなります。意義や本質を確かめ合うこと、そこから「どんな活動ができるかな」と考え合うことをこれからも大切に組合活動を進めましょう。

スーパーマーケットによる 級地引き下げ？ へき地級地を守るたたかい

奥尻島で級地が下げられる学校が生まれそうになっています。離島の厳しい自然環境が正しく反映されなければなりません。稚内市・利尻富士町では、町へき対として緊急に議会請願に取り組みことにしたそうです。宗谷教組としても道教組を通して、道教委に対して利尻の教育環境を訴える予定です。

もうすぐ、各市町村で9月定例議会が行われます。管内で数多くの「へき地級地を守るための議会請願」が行われます。1学期末には豊富・稚内支部が組合独自の活動として地域署名・街頭署名に取り組みました。少しでも、宗谷のへき地性を正しく反映させられるように、教育関係者が力合わせをしています。そんな中、級地が引き下げられそうになっている学校があります。「スーパーマーケット」という要素の算定に関わっています。この6年間で、ホームックニコットが生鮮食品を販売するようになりまし

利尻町立 仙法志小学校

理科の授業を複式で行うことを学校研究に据え、授業づくりや子どもたちが学ぶ環境について研究を深めている仙法志小学校。研究を進めている中谷先生にお話をお聞きしました。

「理科を研究主題に…」という挑戦

以前は、一般的に複式の授業という、いわゆる「A/B年度」方式で、学年が違って子どもたちは同じ学習内容を学んでいました。しかし、最近では、複式学級でも、学年に合わせた学習をするようになってきています。仙小では、こうした背景から、教職員が分担し合って単式での授業を行ってきたといいます。教職員の異動があったりする中、複式授業のあり方を考える中で、「へき複大会は理科で！」と2年前に確かめ合ったそうです。

複式の理科の授業って？

「あまり前例のない複式理科の研究を手探りで進めることに難しさはあるが、系統性を踏まえながら1年間の単元配列を工夫することで、子どもたちにとって

の学びの深まりもある」と中谷先生。

聞くと、5・6年生では特に系統性による学びの深まりがあるといいます。

例えば、5年生の「流れる水のはたらき」と、6年生の「地層」の学習。

6年生は5年生が学ぶ様子から、「あ、昨年勉強したっけ」となり、5年生は6年生も自分たちと同じように、水で土を流している様子から「なんか似ている勉強しているなあ。どんな勉強なんだろう」と見通しをもったりもできるそう。

ちなみに、3・4年生でも、活動場所を合わせることで、学習が機能的になるよう工夫をしているそうです。

学校として

指導計画を整備して…

仙小では、学校として単元配列や各時間ごとの指導計画を作っているそうです。観察や実験の時間を確実にとることが、あらかじめ指導計画で考えられているとのこと。実際に授業をする際には、間接指導になる学年がしっかりと活動できるための配慮や、そのために子どもたちが主体的に考えられるような「わたし方」を工夫しているそうです。



会場校に
お聞きしました!

第2回 利尻編・幌延編

理科を切り口に

学校づくりを進めて

「先進的な理科の研究」ではなく、「理科の授業を切り口に、複式の授業づくりを勉強しています」



という学校研究…と中谷先生。

学校として、理科の授業だけでなく、学びの環境づくりや、学力を支える生活力の向上にも取り組んでいる仙法志小学校。仙小で「複式をはじめ担当する」という先生も多いそうです。そうした中で、子どもたちのために知恵を出し合い、学校づくりをしている先生方が伝わってきました。

幌延町立 問寒別小学校

国語の『読むこと』の授業を公開する問寒別小学校。へき複大会で公開する学校研究は3年計画で、今年は3年次とのこと。1年生担任の経塚先生と、3・4年生担任の森川先生にお話を伺いました。

ひとり学びでも、 これなら深く考えられる!

現在の学校研究を取り組んできた中で、少人数の子どもたちがいかにして考えを深められるかを考えてきたそうです。ひとり学級の場合でも、自分の考え以外に触れたり、考えを深める方法として

「学級の仲間」による様々な思考ができる仕組みを取り入れているそう。『えっ、ひとりなのに仲間!?!』と思う、そこに工夫がありました。授業では、様々な思考をする「架空の友達」がして、思考を深める手助けをするとのこと。学校研究を続けてきた中で、全学年で浸透し、さらには「としおくんはいつもいい加減で」と本当の友達のように性格も意識しながらの活動になったりもすると授業中のエピソードを経塚先生が教えてくれました。

わたりを上手に活用する

「ABワンセット方式」

3・4年生の授業は複式授業になるため、「わたり」で自学になる際の学びを高めるため「ABワンセット方式」の授業を取り入れます。昨年の中頃から、先進的な

研究を取り入れて挑戦しているとのこと。例えば、「教科書をしっかり学ぶ時間(A)と関連図書を自分で学ぶ時間(B)をとる」ような学習を「ABワンセット方式」といい、教科書教材の学びを自分で選んだ本の読みに生かす時間を確実に確保できたりするそうです。問寒別でも自力で解決できる力の育成につながっていると森川先生がお話してくれました。



◆宗谷の秋は学びがいっぱい。ないとうが若いころ、「学び愛フェスタ」と、母女と、教職体は行くもんだ」と先輩から教えてもらいました。宗谷の先生方が懸命に準備している秋の様々な取り組み。みんなが参加し、参加できなくてもたくさん激励しましょう!

(Aiharu)

◆稚内支部が19日に街頭宣伝アピール行動をします。宗谷教組本部として、稚内市議会に「戦争法案」廃案を求める議会請願に取り組みました(詳細は次号で)。こうして運動が広がっていくことが、大事なのだと思います。こうして、国民主権・民主主義を確かめ合う節目になるのだと思います。『教え子を再び戦場に送らない』ための具体的なたたかいたいをしていく節目になるのだと思います。

◆国会審議が大詰め。本部では、みなさんから寄せられた「抗議FAX」を少しずつ手分けして、国会議員に送信しています。みなさんは、「このFAX、国会議員は読んでくれるかな?」って思いませんか? たくさん届いてくれるかな? きっと、思った方も少なくはないはず。本部でもそんな話題になっていきます。ただ、世論を敏感に感じなければいけない職業である国会議員の良心に響くものはあると思うのです。一枚一枚目を通さなくても「こんなに届いている」という実感にはつながるはず。



◆国会審議が大詰め。本部では、みなさんから寄せられた「抗議FAX」を少しずつ手分けして、国会議員に送信しています。みなさんは、「このFAX、国会議員は読んでくれるかな?」って思いませんか? たくさん届いてくれるかな? きっと、思った方も少なくはないはず。本部でもそんな話題になっていきます。ただ、世論を敏感に感じなければいけない職業である国会議員の良心に響くものはあると思うのです。一枚一枚目を通さなくても「こんなに届いている」という実感にはつながるはず。